

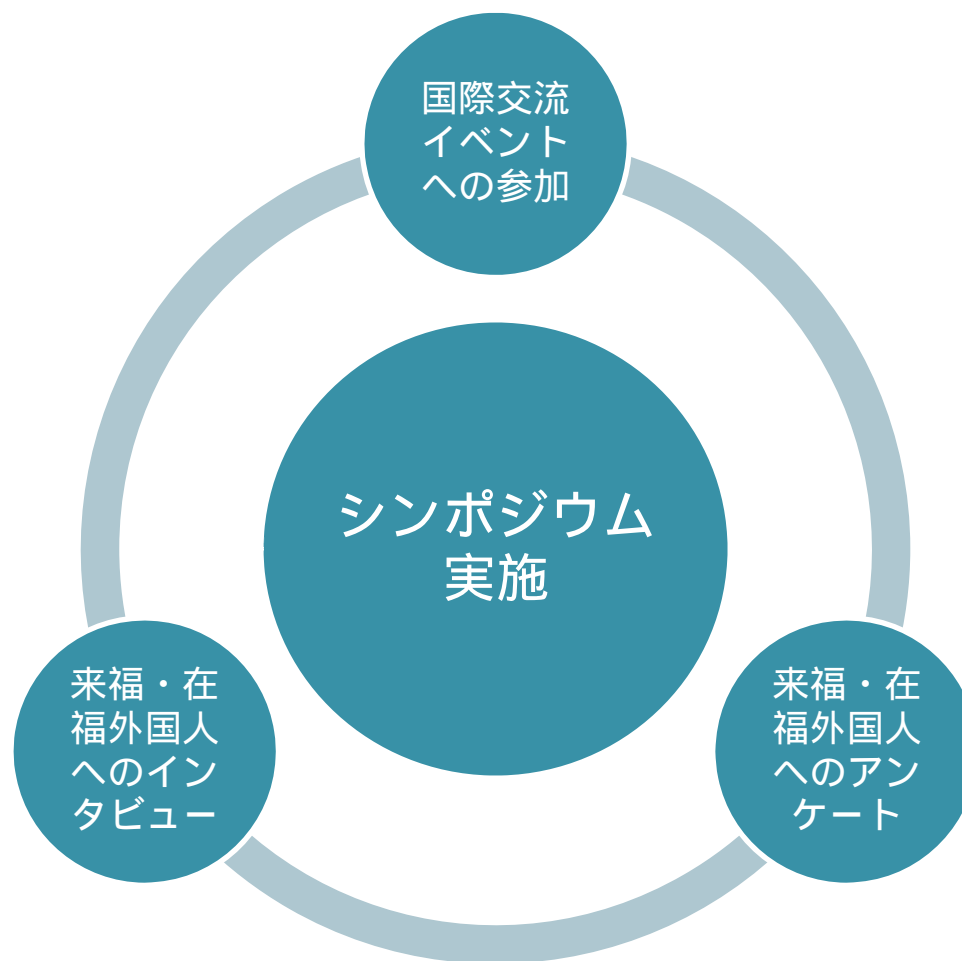
福島大学行政政策学類 学生企画科目

来福人プロジェクト
～ 福島に人を呼び込むためには？
外国人の視点から考える～

これまでの活動と
シンポジウム企画について

副代表 行政政策学類2年 佐藤 匠
企画担当 人間発達文化学類2年 熊澤 千裕

来福人企画概要



国際交流イベントへの参加

- 外国人との「つながり」を得る
- メンバーの「国際感覚」を育む
- メンバーの積極性を育む



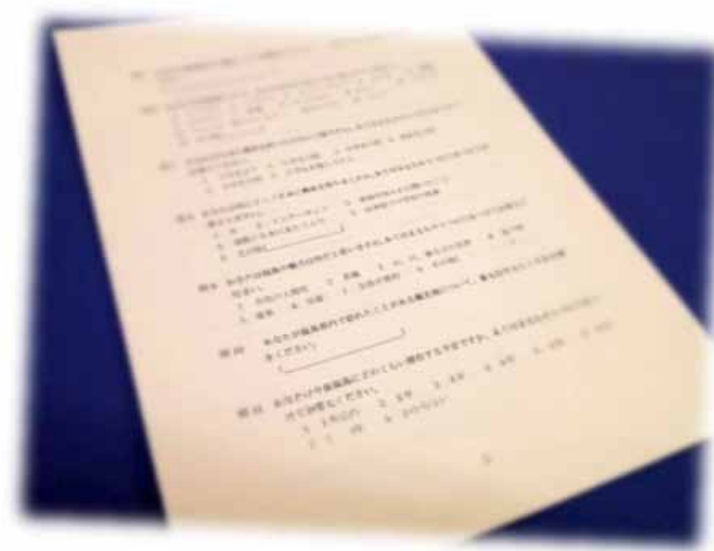
来福・在福外国人へのインタビュー

- 目的：「何が外国人を福島へ来させた」のかを知る
- 対象：福島在住の外国人
観光、留学等で福島に来ている外国人
→ 違いはあるのか



来福・在福外国人へのアンケート

- 目的：外国人の福島に対する考えを把握→統計としてまとめる
- 対象：福島在住の外国人



シンポジウム実施

- 日時：12/15(土) 13:00~16:30
- 場所：福島テルサ
- 定員：80名
- 参加費用：無料
- 内容：「福島に人を呼び込むにはどうすればよいか」
という観点から、福島県の人口流出と観光客減少という
問題解決につながるアイデア獲得を図る

シンポジウムの目的

知る

- 観光業の現状
- 人を呼び込む活動の概要と課題

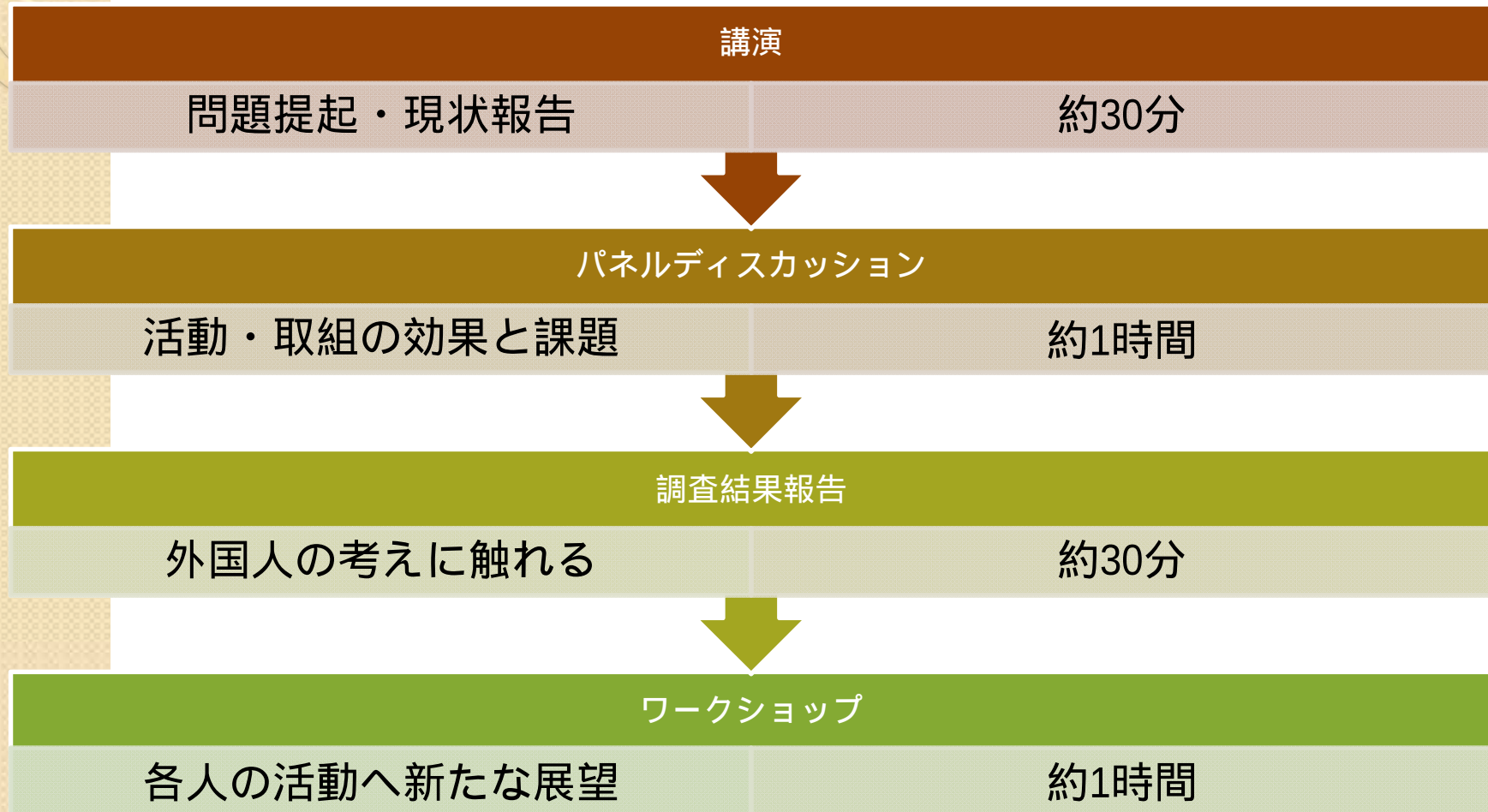
聴く

- 外国人の考え
- 観光面で取り組んでいる方々の声

考える

- 個人or団体・法人の活動への転化
- 外国人とのかかわることへの可能性

シンポジウムの流れ



問い合わせ先等

- Blog

<http://ameblo.jp/interv-fksm/>

- Twitter

[@interv_fksm](#)

- Facebook

<https://www.facebook.com/Raifukujin>

- 連絡先

熊澤 千裕（企画担当）

kumachi4@gmail.com

来福人プロジェクト「シンポジウム」企画書

【企画背景】

「国外との繋がりを強固にすることが福島復興を大きく加速させるのではないか」という考えのもと、私たち「来福人プロジェクト」は今年5月から、福島大学行政政策学類の学生企画科目として大学より認定を受け、「福島の外国人」に焦点を当てて活動しております。福島県は今なお放射線の脅威にさらされていますが、そのような状況にも関わらず福島に滞在している外国人、震災後福島を訪ねている外国人がいます。そこで、彼らの考えを知り、新しいアイデアや視点を発見して福島の復興に繋げていこうと考え、在福外国人や来福外国人の方々へのインタビューとアンケート調査をおこなってまいりました。その中で、外国人の意見を福島の観光業や人口減少問題に反映することへの可能性や必要性を感じ、シンポジウムの開催を決定した次第です。

【目的】

シンポジウムの目的は3つあります。1つ目は「知る」、具体的には福島県の観光業の現状や、福島に誘客するため、また人口減少を食い止めるための活動の内容や課題、目標などを知ることです。2つ目は「聴く」、外国人の考えや観光面で取り組みを行っている方の声を聴くことです。3つ目は「探る」、つまり個人や団体・法人の活動へ転化していく方法や外国人とのかかわることへの可能性を探ることです。シンポジウム全体を通して、この3つの目的を果たすことにより、福島に人を呼び込むためのアイデアの獲得を目指します。また、外国人の率直な意見を耳にすることで、今まで気が付かなかった福島の問題点や特長を発見する狙いもあります。

【実施計画】

- 1)対象：広く一般の方（県内外問わず）
- 2)日時：12月15日(土)13:00～16:30
- 3)場所：福島テルサ（福島市上町4番25号）
- 4)プログラム案：
 1. 講演：問題提起・現状報告
 2. パネルディスカッション：活動や取組の効果と課題を聞く
 3. 調査結果報告：外国人の考えに触れる
 4. ワークショップ：各人の活動へ新たな展望を探る
- 5)内容：「福島に人を呼び込むにはどうすればよいか」という観点から、福島県の人口流出と観光客減少という問題解決のために活動されている方や率直な意見を持っている外国人の方のお話をうかがうとともに、本プロジェクトの一環としておこなってきた在(来)福外国人への調査結果を発表し、それらを参加者で考察するという内容になっています。「外国人」と「福島」というキーワードで「知る・聴く・探る」場です。
- 6)参加費：無料

企画実施：福島大学行政政策学類学生企画科目「来福人プロジェクト」

協力：福島大学学生課国際交流センター

問い合わせ先

福島大学人間発達文化学類2年

熊澤千裕(企画担当)

Tel：080-6047-4625

PC：kumachi4@gmail.com